

オプトアウト用公開文書

【研究名称】

A 大学病院におけるハイリスク妊婦への取り組み、またその抽出方法に関する後方視的検討

1. 研究の対象

2022 年 1 月から 2023 年 3 月までに当院で妊婦健診から分娩まで行った方。

2. 研究目的・方法

我が国では、周産期死亡の原因として自殺が多く、産後うつ病などを有している方が多くを占めています。また、産後うつ病や母子関係障害が児童虐待の原因として挙げられており、妊娠早期から適切な援助が受けられる体制が必要とされています。本研究では、メンタルヘルスの問題が発症する可能性が高い妊婦に対して、早期から多職種による介入を行い、妊娠期から産褥期まで絶え間ないサポートを提供させていただくために、リスクの高い妊婦を適切に抽出することを目的としています。

カルテから基本属性のデータを集計し、EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票）*の点数との関連について分析を行います。

* EPDS（エジンバラ産後うつ病質問票：Edinburgh Postnatal Depression Scale）

イギリスの精神科医により、産後うつ病のスクリーニングを目的として作られた 10 項目の質問票です。

3. 研究に用いる情報の種類

カルテから以下に関するデータを収集させていただきます。

年齢、妊娠出産歴、分娩日、EPDS の点数（妊娠中、産後）、特定妊婦の有無、妊娠歴、生活歴、社会経済的要因、環境要因

4. 研究実施期間

2023 年 12 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

5. その他

本研究に関するご質問等ありましたら下記の相談窓口までお問い合わせください。ご希望があれば、ほかの研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができます。

個人を特定できる情報（患者氏名・カルテ番号）については匿名化されておりますが、あなたの情報を研究に利用する事を希望されない場合、下記連絡先へご連絡くださればあなたの情報の利用を停止いたします。情報利用を希望されなくても、あなたに不利益を被ることはありませんのでご安心ください。

連絡先：〒589-8511 大阪狭山市大野東 377-2

電話：072-366-0221 内線 2235

研究責任者：近畿大学病院 看護部 福和直美